

事業区分 令和3年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

事業名 Seaサマーキャンプ in 芦北

[主催] 国立阿蘇青少年交流の家（企画・運営熊本「体験の風をおこそう」運動実行委員会）

[共催] 熊本県立あしきた青少年の家

[後援] 熊本県教育委員会 球磨村教育委員会

[期 日] 令和3年7月22日（木）～7月24日（土）（2泊3日）

[活動場所] あしきた青少年の家

[参加者] 球磨村の小学4～6年生 31名

[講師] 株式会社アグリライト研究所 代表取締役 園山 芳充氏（アマモ学習）
 有限会社御立岬 直売課塩係長 枇杷木 和明氏（塩づくり）

[担当職員] 4名

[ボランティア] 5名

1 趣 旨

人吉・球磨豪雨災害で被害の大きかった地域の子供達に、海を舞台とした体験活動を提供することで、心身のリフレッシュを図り、友達との絆を深める機会とする。

2 目 標

- (1) 海を舞台とした体験活動を提供することをとおして、参加児童が心身のリフレッシュを図る。
- (2) 体験だけではなく、山と海のつながり等、環境について学ぶ機会とする。

3 事業展開

(1) 研修プログラム

時刻	【1日目】7月22日（木）	時刻	【2日目】7月23日（金）	時刻	【3日目】7月24日（土）
7:00		7:00	起床 6:30 朝食	7:00	起床 6:30 朝食
8:00		8:00	着替え・準備	8:00	着替え・荷物の整理・清掃活動
9:00		9:00	移動	9:00	退所点検 移動
10:00		10:00	活動3 海の恵みを感じよう！ 【塩づくり体験、海水浴】	10:00	活動6 みんなで楽しもう！「船体験」 【海での船体験】
11:00		11:00	移動・休憩	11:00	
12:00	※あしきた青少年の家までは、保護者送迎	12:00	昼食・休憩	12:00	昼食・休憩
13:00	入所式・アイスブレイク	13:00	活動4 学ぼう！海のこと 【アマモ学習の準備、移動】	13:00	ふり回り
14:00	移動	14:00	移動・休憩	14:00	退所式
15:00	活動1 探してみよう！「海の生き物」 【海の生き物探し、鑑賞】	15:00	活動5 海のゆりがごって何？ 【アマモ学習】	15:00	※保護者送迎により帰宅
16:00	移動・休憩	16:00			
17:00	夕べのつどい 夕食	17:00	活動5 「海」と「山」の縁結び 【おにぎりづくり体験】	17:00	
18:00	入浴・休憩	18:00		18:00	
19:00		19:00	入浴・休憩	19:00	
20:00	活動2 なぞを探るぞ！「光る海」 【夜の海探検】	20:00		20:00	
21:00	ふり回り	21:00	ふり回り	21:00	
22:00	就寝準備 就寝	22:00	就寝準備 就寝	22:00	

雨天時はクラフト、ニュースポーツ等で対応します。
 天候やその他の事情でプログラムを変更する場合があります

(2) 活動の様子



【海辺の生き物を調べる】



【塩づくり体験】



【みんなで海水浴】



【観光うたせ船体験】

4 成果と課題

(1) 成果

- 参加者全員が「楽しかった」、「まあまあ楽しかった」と答えている。参加者が心身のリフレッシュを図ることができたと思う。
- 「この体験をとおして前から知っている人とももっと仲よくなれた気がしました。」等の感想が多くあった。このキャンプがお互いの絆をより深める機会になったと思う。
- あしきた青少年の家との共催により、海の活動を行うにあたり、海の専門家としての知識等様々な助言をいただいた。そのことがより安全で充実した活動につながった。
- 「山と海はつながっている。これから山を大切にしようと思う。」等の感想が寄せられた。アマモ学習では、山からの栄養分によって生物が育つこと、塩づくり・おにぎりづくりでは、海の恵みや山の恵みを学ぶことできた。山や海の豊かさを守ることについて考えることができた。

(2) 課題

- プログラムを詰め込みすぎた。そのことで余裕がなくなり、活動後の振り返りや参加者が行う後片付け等、大切なことができなかつた。(プログラムの流れにストーリー性をもたせるように)
- 当日の事前打ち合わせの時間が十分に取れなかつた。他の施設で行う事業なので、前泊する等の方法を取り、確実にを行うことが必要だと感じた。
- 活動中に水筒が空になっていたり、水分をほしがっていたりする場面があつた。児童に対して、事前の対応やスポーツドリンクを飲ませる等の熱中症対策を更に行う必要がある。